

地域のみなさまへ ● 脳神経センター大田記念病院 旧リハビリ棟解体工事だより

2018 年 8 月 1 日 ■ No.1

社会医療法人祥和会 総務チーム施設担当 & 広報コミュニケーショングループ
福山市沖野上町 3-6-28 ■ ☎084-931-8650



▲沖野上交差点から見た
解体終了後の跡地イメージ。

8月1日から重機による解体を始めます。

暑中お見舞いを申し上げます。平素は地域の皆さまに大変お世話になり、誠にありがとうございます。

さて、脳神経センター大田記念病院では、去る7月10日から、旧・リハビリ棟のうち、バス通り(福山港洗谷線)側の創業の建物「本館Ⅰ期」(1976年)と、その後、増築された「本館Ⅱ期」(1979年)、堀医院(現・堀病院、1976年築)から譲渡を受けた「東館」の3つについて、解体のため閉鎖し、準備工事を進めてまいりました。



具体的には、電力、通信、上水道、下水道、医療ガスなどを、他の建物から切り離れたほか、館内では接続する建物との間に各階で間仕切り壁を設置しました。

また、解体建物の周辺にあったプレハブ倉庫、駐輪場屋根の撤去を行いました。

事前の準備工事が終わりましたので、来る8月1日(水)から、重機による解体工事を始めます。騒音、振動により近隣の皆さまにご迷惑をおかけいたします。何卒、ご理解、ご協力の程、お願い申し上げます。

住民説明会へのご出席、ありがとうございました。

去る7月7日夜、沖野上西自治会集会所において開催された「沖野上西自治会臨時会議」の席をお借りし、解体工事に関する住民説明会を開催させていただきました。ご出席をいただきました皆さま、誠にありがとうございました。

限られた時間であったため、ご参加の皆様からいただいたご意見・ご質問にきちんとお答えできておりませんでしたので、本紙上にてお伝えします。

■会場からのご質問

Q.「説明だけではわからないので、工程表を住民に配ってほしい」

A.本紙裏面に工程表を掲載いたしましたのでご覧ください。また、解体工事だより発行の都度、最新の工程表を掲載の予定です。

Q.「解体後、本館Ⅲ期(南側)の部分は、建物を残す、と聞いた。新しく壁をつけたり、外階段をつけるというが、工期を教えてください」

A.「本館Ⅰ期」「本館Ⅱ期」の地上部分の解体が終わり、「東館」の解体工事と平行して、12月下旬から、外階段の基礎づくりと設置、外壁を取り付ける作業を2019年2月上旬にかけて行います。

その後、2月下旬から3月上旬にかけ、残される「本館Ⅲ期」部分のリフォーム工事を行います。

Q.「解体は3月末までと聞いたが、関係するすべての工事が完了するのはいつのことか」

A.解体と基礎の杭を抜く工事は3月末日までに終わらせる予定です。4月から5月下旬にかけ、跡地を患者さん用の駐車場として舗装し、整備します。

Q.「解体工事は、雨の日も行うのか」

A.台風や豪雨等では工事を中止することもあります。雨天の日も工事を行います。

Q.「解体工事中に粉塵や土ぼこりがたたないように、散水をすると思うが、その汚水が用水路に直接流れ込まないようにしてほしい」

A.工事区画内の排水は、雨水枡に集めたのち、沈殿槽で泥や砂と分離のうえ、下水管や水路に放流します。

Q.「説明会の資料には、騒音規制法、振動規制法を遵守すると書いてあるが、具体的な測定方法を教えてください」

A.福山市発行の「騒音・振動のしおり」に基づき、週のうち代表的な3日について、携帯型の「騒音計」、「振動計」を、道路との境界線におき、測定し、記録簿に記帳していきます。

解体工事は「特定建設作業」の規制基準が適用され、音の大きさの許容限度は85デシベル。振動の許容限度は75デシベルと定められています。

Q.「解体工事現場で作業をする人数は、常時平均何人くらいか」

A.平均して、常時10人程度が解体工事に従事します。

Q.「工事開始前に『家屋調査』を実施する、と説明書に書いてあるが、私の自宅については、病院に近く、影響を受けるので、必ず実施してほしい」

A.去る7月26日に解体工事現場に隣接する場所にお住まいの皆さまの下に、祥和会と鈴木工務店がお伺いし、挨拶をさせていただくとともに、改めて家屋調査のお願いをしました。重機による作業を前に、再度お伺いし、調査します。

SHOUWAKAI
社会医療法人 祥和会
脳神経センター大田記念病院
Brain Attack Center Ota Memorial Hospital

[illegible]